

東北地方 1 か月予報

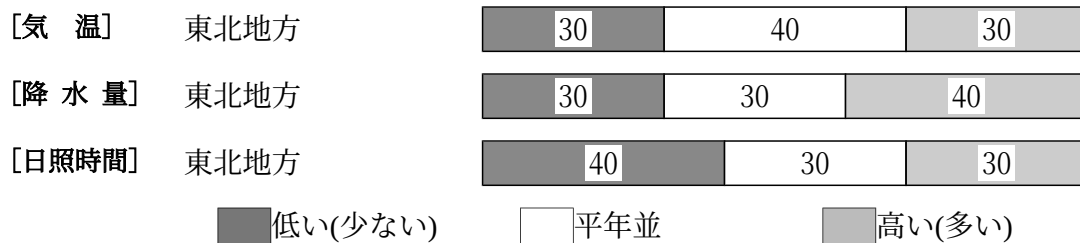
(11月1日から11月30日までの天候見通し)

平成20年10月31日
仙台管区气象台発表

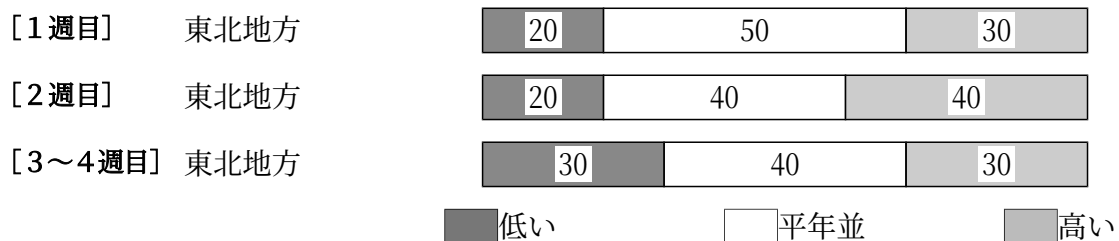
<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。
天気は数日の周期で変わるでしょう。東北日本海側は平年に比べて曇りや雨または雪の日が多く、東北太平洋側は平年に比べて晴れの日が少ない見込みです。
週別の気温は、1週目は平年並の確率が50%、2週目は平年並または高い確率がともに40%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



<気温経過の各階級の確率(%)>



<予報の対象期間>

1か月 : 11月 1日(土) ~ 11月30日(日)
1週目 : 11月 1日(土) ~ 11月 7日(金)
2週目 : 11月 8日(土) ~ 11月14日(金)
3~4週目 : 11月15日(土) ~ 11月28日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報: 毎週金曜日 14時30分 次回は11月7日
3か月予報: 11月25日(火) 14時

＜参考資料（平年並の範囲等）＞

（１）30 年平均値（向こう 1 か月の平均気温、降水量、日照時間と 1 週目、2 週目、3～4 週目の平均気温）

	気 温 (°C)	降 水 量 (mm)	日照時間 (時間)	気 温(°C)		
				1 週目	2 週目	3～4 週目
青森	6.4	131.7	91.4	8.9	7.4	5.3
深浦	7.5	147.2	71.4	9.9	8.4	6.3
むつ	6.3	115.4	106.5	8.6	7.1	5.1
八戸	6.6	61.2	136.5	9.0	7.5	5.5
秋田	7.6	183.5	84.7	9.9	8.5	6.5
盛岡	5.7	93.1	118.8	8.0	6.6	4.5
大船渡	8.2	104.5	139.5	10.4	9.1	7.1
宮古	7.7	85.6	146.3	9.9	8.6	6.7
仙台	9.1	66.8	140.2	11.3	10.0	8.0
石巻	8.3	65.1	149.3	10.6	9.3	7.1
山形	7.2	80.8	99.6	9.4	8.1	6.0
新庄	6.2	195.4	62.1	8.4	7.1	5.2
酒田	9.0	223.9	80.4	11.1	9.8	7.9
福島	9.0	63.4	130.6	11.2	9.9	7.8
若松	7.0	73.3	88.3	9.3	8.0	5.8
白河	7.6	65.0	146.4	9.9	8.6	6.4
小名浜	10.8	87.7	160.2	12.9	11.7	9.7

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

（２）1971～2000 年のデータに基づいた向こう 1 か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差(°C)	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.3～+0.5	80～107	96～106
東北日本海側	-0.3～+0.5	92～103	95～106
東北太平洋側	-0.3～+0.6	68～111	95～105

（３）この予報期間の 1 週目、2 週目、3～4 週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1 週目	2 週目	3～4 週目
東北地方	-0.6～+0.7	-0.6～+0.6	-0.6～+0.5
東北日本海側	-0.6～+0.7	-0.6～+0.7	-0.6～+0.5
東北太平洋側	-0.6～+0.7	-0.6～+0.6	-0.6～+0.6

＜参考資料（利用上の注意）＞

（１）気温（降水量）等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の 3 つの階級で予報します。階級の幅は、1971～2000 年の 30 年間における各階級の出現率が等分（それぞれ 33％）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。

（２）予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった 10％以下や 60％以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（30％、40％）の確率しか付けられません。

（３）晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。なお、単に多い（少ない）と表現した場合には対象期間の 2 分の 1 より多い（少ない）ことを意味します。

東北地方 1 か月予報解説資料

平成 20 年 10 月 31 日 仙台管区気象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう 1 か月（11 月 1 日～11 月 30 日）：

天気は数日の周期で変わるでしょう。東北日本海側は平年に比べて曇りや雨または雪の日が多く、東北太平洋側は平年に比べて晴れの日が少ない見込みです。

平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

1 週目（11 月 1 日～11 月 7 日）：

東北日本海側では気圧の谷や寒気の影響で曇りや雨の日が多いでしょう。東北太平洋側では、高気圧におおわれて南部を中心におおむね晴れますが、期間のはじめと終わりには気圧の谷の影響で曇りの日がある見込みです。

平均気温は平年並の確率が 50% です。

2 週目（11 月 8 日～11 月 14 日）：

天気は数日の周期で変わるでしょう。東北日本海側は平年と同様に曇りや雨または雪の日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

平均気温は平年並または高い確率がともに 40% です。

3～4 週目（11 月 15 日～11 月 28 日）：

天気は数日の周期で変わるでしょう。東北日本海側は平年に比べて曇りや雨または雪の日が多く、東北太平洋側は平年に比べて晴れの日が少ない見込みです。

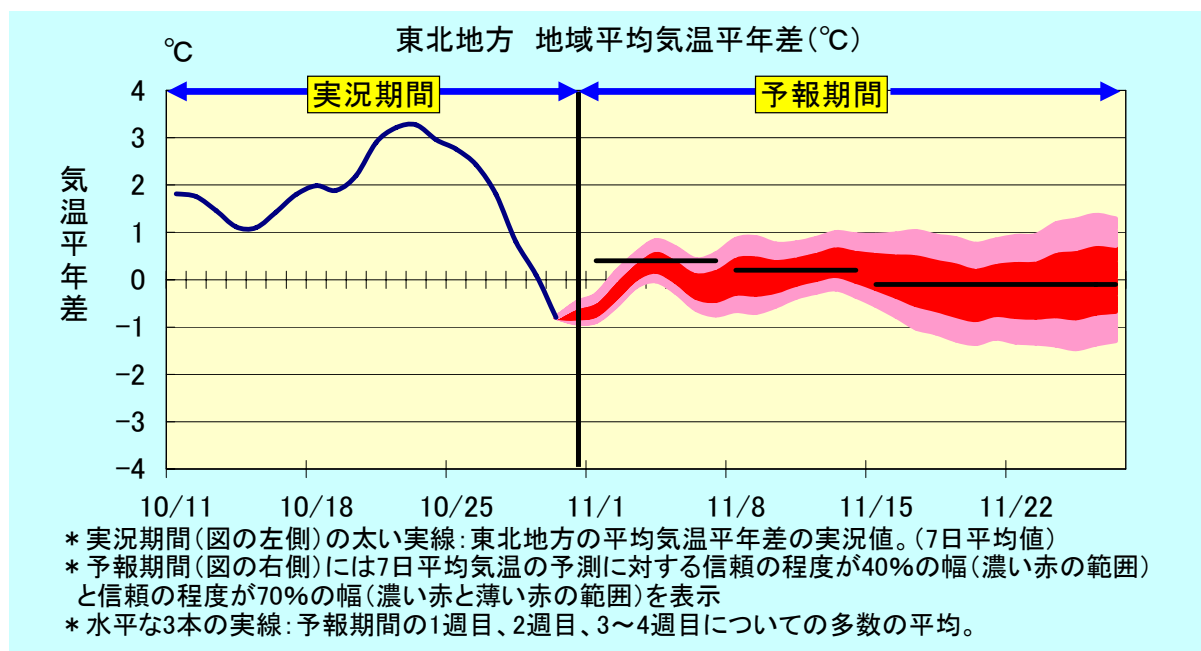
平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

平年の晴れ日数

	向こう 28 日間	1 週目	2 週目	3～4 週目
東北日本海側	8.7 日	3.0 日	2.2 日	3.5 日
東北太平洋側	16.5 日	4.3 日	4.2 日	8.0 日

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別のアンサンブル平均気温は、1 週目、2 週目、3～4 週目とも平年付近の予想となっている。予報はその他の資料により、2 週目を平年並から高めに考える。

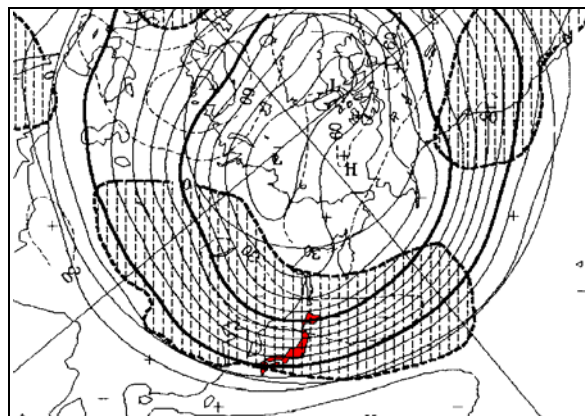


3. 1か月平均と1, 2週目の上空の大気の流れの予想 (500hPa 予想天気図)

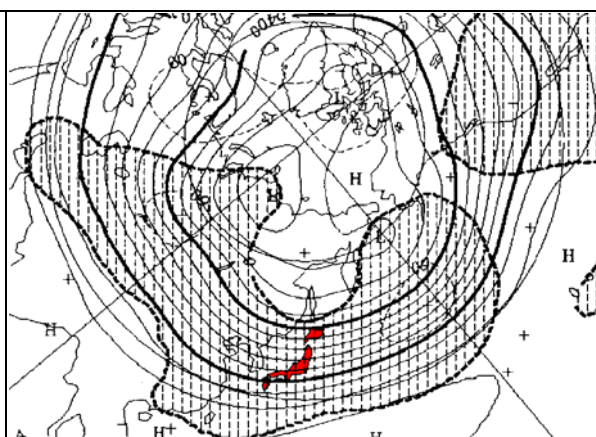
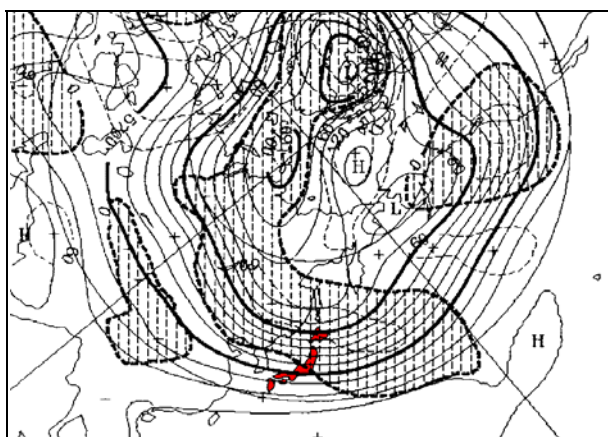
1か月平均: 日本付近の中緯度帯は、東経 90 度付近から日付変更線付近にかけて、東西に広く負偏差となる。極付近は正偏差で寒気放出傾向となり、一時寒気の南下が見込まれるが、日本の南海上には正偏差域が広がり、低温は長続きしない見込み。

1週目: ユーラシア大陸から太平洋にかけ波列が見られる。日本の東海上は負偏差となり、北日本も負偏差となる。一時寒気が南下する見込みだが、西日本から日本の南海上には正偏差域が広がり、低温は長続きしない見込み。

2週目: 高緯度帯ではヨーロッパからベーリング海まで波列が見られる。シベリアからオホーツク海は正偏差で寒気の南下は弱い見込み。日本付近の中緯度帯は広く負偏差となるが、偏差は弱い。850hPa 気温予想図 (図略) では、日本付近は正偏差。



1か月平均 500hPa 予想天気図
(図の見方は1, 2週目と同じ
ただし平年差の間隔は 30m 毎)



1週目平均 500hPa 予想天気図

2週目平均 500hPa 予想天気図

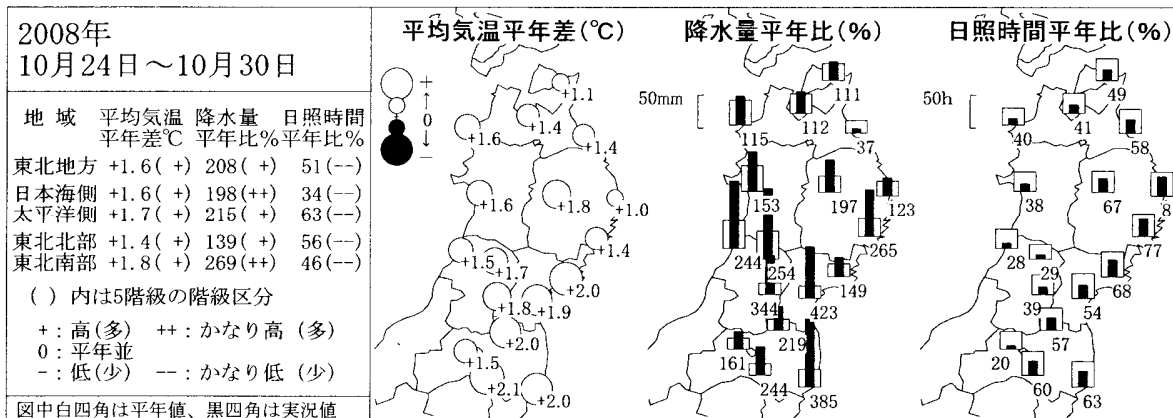
実線は、等高度線 (間隔 60m)、点線は、平年差 (間隔 60m)

陰影部は、負偏差で一般に寒気に対応する 白抜きは、正偏差で一般に暖気に対応する

4. 最近1週間 (10月24日～10月30日) の天候の経過

この期間、前線や気圧の谷、寒気の影響により東北日本海側を中心に、曇りや雨の日が多かった。24日には、寒冷前線が東北地方を通過し、東南北部を中心に大雨となった。また、期間の前半は南からの暖かい空気が入り気温はかなり高かったが、その後は寒気が入り気温は低くなった。

平均気温は東北地方で高い。降水量は東北部で多く、東西南部でかなり多い。日照時間は東北地方でかなり少ない。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差 (比)